

1. 科目名 (単位数)	幼児理解 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2212 JNCS2405
2. 授業担当教員	鈴木 美子		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>幼児期の保育は、幼児一人ひとりの発達の特性に定じ、発達の課題に即した指導を行うことが重要である。本科目では、幼児一人ひとりの行動や内面の理解、発達を適切に把握できるよう、実践事例（文献、映像）等を用いて、幼児の生活の実際とその理解、具体的な指導のとらえと意味、幼児期の保育における環境のとらえ方、評価の在り方、幼少の連携、並びに行事について学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<p>以下の事項について学び、幼児の主体性を育てる保育を理解し、実践するための基礎を習得することをテーマとし、学習の到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育とは何か、保育における環境の在り方</li> <li>2. 子どもを見る視点、保育を見る視点</li> <li>3. 幼児期の発達の特徴</li> <li>4. 子どもの行動の意味と記録の方法</li> <li>5. 発達やかかわりに配慮を必要とする子どもへのかかわり方 保護者対応・支援</li> </ol>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>宿題：必要に応じて次回の授業に関するプリントを渡します。記入箇所に記載し、自分の考えをまとめ、文章化した上で各回の授業（ディスカッション）に臨んで下さい。ディスカッションを充実させることにつながります。</p> <p>レポート：課題を授業中に提示します。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】小田豊編著『幼児教育の方法』北大路書房。 幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーベル館</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子ども（幼児）の内面と行動について、その基本的事項（意味、発達特性、環境とのかかわり）を理解し、説明できるか。</li> <li>2. 保育状況における様々な幼児の姿の理解（深まりと広がり）の方法と、保育者としての適切なかかわり方について具体的かつ明瞭に説明できるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への態度、グループワークで共同する態度 総合点の 30%</li> <li>2. 提出物（小テスト、レポート）総合点の 70%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>大人になってきている自分を、もう一度振り返って、幼児期の自分の心や眼差しを思い起こしながら、子どもの目線になって幼児理解を試みてみましょう。</p> <p>実践事例を通して、具体的に捉え考えることの積み重ねによって幼児理解を確かなものへと構築していきましょう。</p>		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業概要、授業計画、保育とは	事前学習	幼稚園教育要領解説とポイントを読んでおく。
		事後学習	幼児期の発達の特徴をまとめる。
第 2 回	環境を通して行う保育（その 1） —子どもにとっての環境の意味—	事前学習	プリントを読み必要箇所に記入しておく。
		事後学習	環境の意味をまとめる。
第 3 回	環境を通して行う保育（その 2） —保育者の役割—	事前学習	プリントを読み必要箇所に記入しておく。
		事後学習	保育者の役割をまとめる。
第 4 回	環境を通して行う保育（その 3） —友だちという存在—	事前学習	プリントを読み必要箇所に記入しておく。
		事後学習	友だちの存在についてまとめる。
第 5 回	実践事例の映像から —環境に関わって遊びを展開する子どもの姿を具体的に捉える—	事前学習	プリントを読んで課題を考えてまとめておく。
		事後学習	事例をもとに環境の意味を具体的にまとめる
第 6 回	実践事例の映像から —保育者の援助を具体的に捉える—	事前学習	プリントを読んでおく。
		事後学習	事例をもとに、保育者の援助を具体的に捉えその意味を文章化する
第 7 回	保育の評価	事前学習	プリントを読んで空欄に適当な文章を記入しておく。
		事後学習	反省評価についてまとめる
第 8 回	連携を生かした保育 —保育における連携とは—	事前学習	プリントの必要箇所に記入しておく。
		事後学習	保育における連携についてまとめる。
第 9 回	連携を生かした保育 —保育場面と小学校以降の学びの関連性を捉える—	事前学習	プリントの必要箇所に記入しておく。
		事後学習	幼児期における学びの芽生えとそれ以降の学習との関連をまとめる
第 10 回	行事を生かした保育 —保育における行事の意味—	事前学習	プリントを読んでおく。
		事後学習	幼稚園教育要領解説とポイントの該当箇所を読み、行事の意味をまとめる
第 11 回	行事を生かした保育 —運動会の実践事例から—	事前学習	運動会について、幼児期の体験をまとめておく。
		事後学習	映像の中の、幼児の具体的な姿を文章化し、日常の保育とのつながりを捉える。
第 12 回	3 歳児の保育	事前学習	プリントを読んでおく。
		事後学習	3 歳児の発達と保育についてワークシートを仕上げ理解する。
第 13 回	4 歳児の保育	事前学習	プリントを読んでおく。

		事後学習	4歳児の発達と保育についてワークシートを仕上げ理解する。
第14回	5歳児の保育	事前学習	プリントを読んでおく。
		事後学習	4歳児の発達と保育についてワークシートを仕上げ理解する。
第15回	まとめ	事前学習	本授業の要点や課題を整理しておく。
		事後学習	本授業を通して学んだことを振り返り、各課題に関するポイントを文章化する
期末試験			